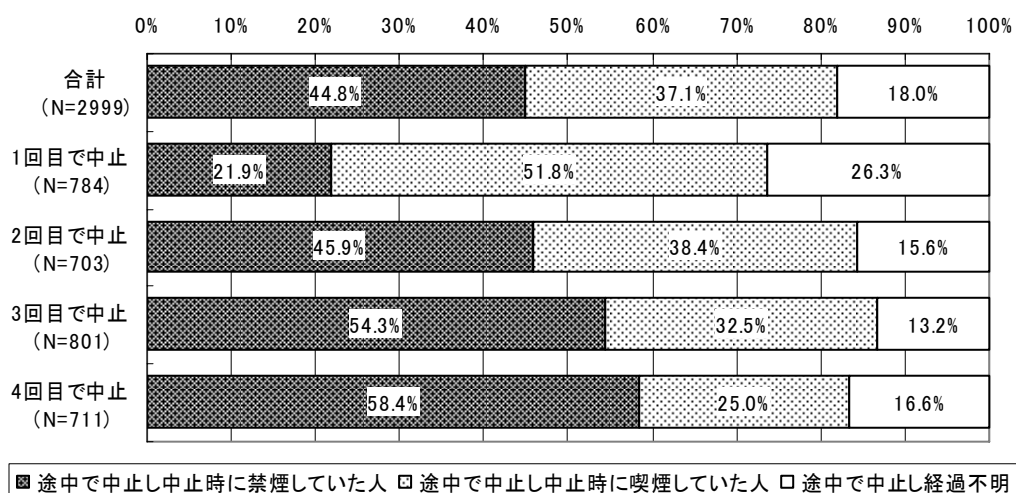


8) 5回の指導を途中で中止した患者の中止時の状況

ニコチン依存症管理料の算定を5回目より前に中止した患者(2,999人)では、中止時に44.8%が禁煙していた。ニコチン依存症治療を実施した回数が多いほど、中止時の禁煙率が高い傾向が認められた。

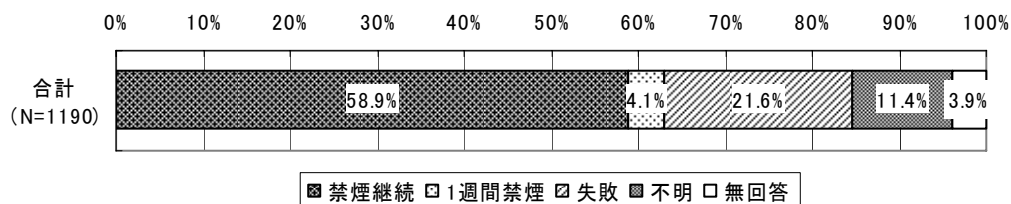
図表 29 ニコチン依存症治療中止時の状況



9) 5回の指導を全て終了した患者の3ヶ月後の状況

5回の指導を終了した患者(1,190人)の、指導終了3ヶ月後の状況についてみると、「禁煙継続」が最も多く58.9%となっていた。一方で、「失敗」も21.6%であった。

図表 30 ニコチン依存症治療を5回終了した人における、指導終了3ヶ月後の状況



※参考：禁煙の定義

1週間禁煙	<ul style="list-style-type: none"> 3ヶ月後の調査時点で禁煙しており、少なくとも1週間、1本も吸わずに禁煙を継続している人 禁煙/喫煙の状況については、自己申告とする。
禁煙継続	<ul style="list-style-type: none"> 5回目の指導終了時から3ヶ月後調査までの期間、または指導中断時から3ヶ月後調査までの期間、1本も吸わずに禁煙を継続している人 禁煙/喫煙の状況については、自己申告とする。

また、年齢別の指導終了3ヶ月後の状況を以下に示す。

「禁煙継続」は50歳未満では50%台であり、50歳以上で60%を超えていた。「失敗」については40歳未満で20%以上、40歳以上、60歳未満で20%未満であった。

図表 31 指導終了3ヶ月後の状況（年齢別）

	合計	禁煙継続	1週間禁煙	失敗	不明	無回答
合計	1190	701 58.9%	49 4.1%	257 21.6%	136 11.4%	47 3.9%
【年齢】						
30歳未満	23	12 52.2%	2 8.7%	5 21.7%	3 13.0%	1 4.3%
30～39歳	142	72 50.7%	5 3.5%	36 25.4%	24 16.9%	5 3.5%
40～49歳	193	111 57.5%	7 3.6%	38 19.7%	29 15.0%	8 4.1%
50～59歳	281	171 60.9%	11 3.9%	56 19.9%	35 12.5%	8 2.8%
60歳以上	551	335 60.8%	24 4.4%	122 22.1%	45 8.2%	-